

広告
企画

親子で学ぶ夏休み 株式市場の観察



<http://www.natsuyasumi.jp>

私たちの暮らしと
会社、株式市場とのかかわりについて
考えてみましょう



株価を観察する会社をどう選べばいいか。子どもにとってはけっとう難しい問題ですが、近くにお店があるとか、製品を

チームの人気は何カ月も何年もかけて変わっていくのですが、さらに短い期間でもチケットの値段に影響することがあります。たとえばあるチームが、雨の日の試合がすごく苦手だったとしましょう。誰も負ける試合は見たくありませんから、雨が降りそうな日はチケットの価値が下がります。天気予報が「晴れ」ならば、チケットの価値は上がるでしょう。実際の株価も、同じようにさまざまな理由が重なりながら、日々動いているのです。

値動きの理由を考え世の中を見る

動いたため」とニュースで報じられたとしたら、「そもそも為替って何なのか」「円高円安によって、この会社のもうけがどう変わるのか」「この会社の車はアメリカでどれくらい売れているのか」といったことを考えてみる必要が出てきます。さらに「どんな人がこの会社の車を買っているのか」「ライバルの会社はどこか」「売れるためにどんな車をつくっているのか」——など、調べることは次々に広がっていきます。ぜひ私がお勧めしたいのが、その会社の仕事の内容、取り巻く会社、取り巻く国、取り巻くお客さんを絵に描いてみることです。すると会社の株価が上がったり下がったりする理由が分かりやすくなるでしょう。そして会社を取り巻くさまざまな役割を持つ存在について、広い視点でとらえることができます。

会社訪問でいろいろ聞いてみよう

使っているとか、自分にとって身近な会社を選んでみるというでしょう。もしお父さんやお母さんが働いている会社が株式市場に上場しているならば、その会社についてとても詳しい話が聞けます。また友達と一緒に、実際に会社に行ってみるのも貴重な経験になります。工場見学などを受け付けている会社は多くありますし、そこでいろいろと質問してみるといいでしょう。私も小学生のとき、社会科のリポートを書くために近所の大手スーパーに一人でインタビューに行った経験があります。突然お店を訪れたにもかかわらず、丁寧に接客に通じていただき、スーツを着たおじさんが対応してくれました。そこでぶしつけにも「1日にいくらもうかっていますか」と質問したのですが、おじさんに「そういう数字は会社の人以外には教えられないんだよ」と言われ、大人の世界は複雑なんだなと驚いたのを覚えています。

「消費」面のニュースを親子の話題に

きで載っている日本経済新聞の「消費」面です。たとえば、簡単にいってしまう加工食品の記事があったならば、「この商品を買うのはどんな人か」「働くお母さんが増えているから助かるはず」と、その商品を取り巻く背景を交えながら話し合ってみると面白いでしょう。また3Dテレビなど最近の注目商品を比較した記事を見ながら、「どっちが売れそうか」「どんな違いがポイントか」「これをつくっている会社の株価は——」といった感じで、楽しみながら話題を広げていきましょう。こうして親子で一緒に「経済」を見る体験は、きっと子どもに深く刻まれて将来に役立つていくに違いありません。

